

令和7年11月 登米市部長等連絡調整会議

【日 時】令和7年11月7日（金）

午前10時から

【場 所】南方庁舎 大会議室

《 次 第 》

1 開 会

2 議 題

(1) 令和7年度原子力防災訓練について

資料1 . . . P 1

(2) 「税についての作文」について

資料2 . . . P 2

(3) 令和7年度登米市人権のつどいについて

資料3 . . . P 3

(4) 登米市市制施行20周年記念事業

令和7年度日本一はっとフェスティバルについて

資料4 . . . P 4

(5) 登米市環境保全米活用食育推進事業について

資料5 . . . P 5

(6) 登米産仙台牛等の給食提供について

資料6 . . . P 6

(7) 登米市市制施行20周年記念事業

登米市消防本部一日消防長について

資料7 . . . P 7

(8) 登米市市制施行20周年記念事業

第37回カッパハーフマラソンについて

資料8 . . . P 8

(9) 登米市市制施行20周年記念事業

第23回登米市絵本原画展について

資料9 . . . P 10

(10) 登米市歴史博物館企画展について

資料10 . . . P 13

3 その他の

11月イベント一覧

資料11 . . . P 16

4 閉 会

令和7年度 部長等連絡調整会議構成員名簿

| No. | 職 名 | 氏 名 | 備 考 |
|-----|-------------------------|---------|-----|
| 1 | 市 長 | 熊 谷 康 信 | |
| 2 | 副市長 | | |
| 3 | 教育長 | 小野寺 文 晃 | |
| 4 | 病院事業管理者 | 松 本 宏 | |
| 5 | 総務部長 | 阿 部 桂 一 | |
| 6 | 総務部政策推進局長 | 小野寺 憲 司 | |
| 7 | 総務部危機管理監 | 後 藤 光 彦 | |
| 8 | まちづくり推進部長 | 佐 藤 靖 | |
| 9 | 市民生活部長 | 幡 江 健 樹 | |
| 10 | 市民生活部次長兼福祉事務所長兼少子化対策推進監 | 岩 渕 治 | |
| 11 | 環境事業所長 | 遠 藤 貞 | |
| 12 | 産業経済部長 | 千 葉 昌 彦 | |
| 13 | 建設部長 | 伊 藤 勝 | |
| 14 | 会計管理者兼契約検査管理監兼会計課長 | 金 澤 正 浩 | |
| 15 | 医療局次長兼経営管理部長 | 高 橋 一 真 | |
| 16 | 上下水道部長 | 小 林 和 仁 | |
| 17 | 消防本部消防長 | 小野寺 敏 彦 | |
| 18 | 議会事務局長 | 櫻 節 郎 | |
| 19 | 教育委員会教育部長 | 新 田 公 和 | |
| 20 | 農業委員会事務局長 | 小野寺 仁 | |
| 21 | 監査委員事務局理事兼事務局長 | 武 田 康 博 | |
| 22 | 迫総合支所長 | 山 形 敦 | |
| 23 | 登米総合支所長 | 加 藤 孝 二 | |
| 24 | 東和総合支所長 | 白 岩 登世司 | |
| 25 | 中田総合支所長 | 菅 原 正 博 | |
| 26 | 豊里総合支所長 | 佐 藤 正 人 | |
| 27 | 米山総合支所長 | 小 泉 一 誠 | |
| 28 | 石越総合支所長 | 加 藤 善 己 | |
| 29 | 南方総合支所長 | 佐 藤 達 也 | |
| 30 | 津山総合支所長 | 佐々木 陽 栄 | |

令和7年度原子力防災訓練について

1 目的

原子力災害発生時における関係機関の防災体制や相互連携にかかる実効性を確認するほか、各種計画やマニュアル等に基づく手順を確認するとともに、関係機関やその要員における原子力防災技術の向上や原子力防災に係る住民の理解促進を図るもの。

また、「女川地域の緊急時対応」を検証するとともに、訓練結果を踏まえた教訓事項の抽出・改善を図るもの。

2 訓練実施日

- (1) 図上訓練：令和7年11月11日（火）
- (2) 住民避難訓練：令和7年11月15日（土）

3 主催

宮城県、女川町、石巻市、登米市、東松島市、涌谷町、美里町、南三陸町

4 想定

自然災害（地震・津波）と原子力災害の複合災害

5 訓練項目

(○=市が実施 ○=市が関係機関と連携して実施 ◇=県が実施)

| 訓練項目 | 訓練実施日 | | 備考 |
|---------------------|---------------|-------|----------------|
| | 11/11 | 11/15 | |
| 1 緊急時通信連絡訓練 | ○ | | TV会議 |
| 2 県災害対策本部運営訓練 | ◇ | | |
| 3 市町災害対策本部運営訓練 | ○ | | 防災危機対策室で対応 |
| 4 県現地災害対策本部運営訓練 | ○ | | オフサイトセンターへ職員派遣 |
| 5 オフサイトセンター運営訓練 | ○ | | |
| 6 緊急時モニタリング訓練 | ○ | | |
| 7 広報訓練 | 屋外広報・緊急速報メール等 | ○ | |
| 8 原子力災害医療活動訓練 | 汚染傷病者搬送訓練 | ○ | 消防本部で対応 |
| | 避難退域時検査 | ◇ | |
| | 安定ヨウ素剤緊急配布 | ○ | |
| 9 住民避難等訓練 | 住民等屋内退避訓練 | ○ | 豊里町、津山町住民対象 |
| | 一時移転訓練 | ○ | 津山地区対象 |
| 10 交通対策等措置訓練 | | ◇ | |
| 11 原子力災害避難支援アプリ運用訓練 | | ○ | |

6 担当部署

総務部防災危機対策室

電話：0220-23-7393

FAX：0220-22-3328

「税についての作文」について

1 概要

全国納税貯蓄組合連合会と国税庁が共催している租税教育推進活動の一環として、「税についての作文」を募集したところ、市内中学校から計372編の応募があり、入賞した作品を掲示するもの。

2 掲示期間 令和7年11月21日（金）～12月5日（金）

3 掲示場所 追序舎 1階 ロビー

4 入賞作品

「税についての作文」

○最優秀賞

・千葉 美郁 (南方中学校) 作品名：「税で支え合う私たち」

○優秀賞

・伊藤 あかり (新田中学校) 作品名：「明るい未来を目指して」

・安藤 心花 (米山中学校) 作品名：「税に支えられているもの」

○税務署長賞

・阿部 恵大 (豊里中学校) 作品名：「税の使い道について考えたこと」

・佐藤 美羽 (東和中学校) 作品名：「税金の大切さを考える」

※また、登米市税務関係団体協議会において、登米市の小学6年生を対象とした「税に関する標語」を募集しており、優秀作品を上記日程で併せて掲示する。

5 担当部署

総務部税務課

電話：0220-22-2169

FAX：0220-22-0239

令和7年度登米市人権のつどいについて

1 目的

人権やハンセン病に対する正しい理解を深めることで、人権尊重のまちづくりに向けた、人権意識の啓発及び高揚を図るもの。

2 日時

令和7年11月29日（土） 午後2時から

3 会場

中田農村環境改善センター 多目的ホール

4 共催

登米市・仙台法務局登米支局・登米人権擁護委員協議会

5 後援

南三陸人権啓発活動地域ネットワーク協議会

6 内容

①講演「ハンセン病と人権」

講師 2名

弁護士 金丸 哲大 氏

元入所者の家族の会会員

②全国中学生人権作文コンテスト県推薦作品の紹介

③パネル展示

人権擁護委員の活動、人権イラストポスター・人権作文、ハンセン病に対する正しい知識の普及啓発

7 担当部署

市民生活部市民生活課

電話：0220-58-2118

FAX：0220-58-3345

登米市市制施行 20 周年記念事業 令和 7 年度日本一はっとフェスティバルについて

1 概 要

江戸時代から続く郷土の料理として、文化庁の「100 年フード」に認定された本市のソウルフード「はっと」の祭典、日本一はっとフェスティバルを開催するもの。

定番の「油麩入りはっと」をはじめ、カレーや海鮮、セリ鍋風など、多彩な「はっと」が出そろい、また、姉妹都市である富山県入善町や広域連携地域の栗原市や岩手県一関市、平泉町からも出店される。

2 日 時

令和 7 年 11 月 30 日（日） 午前 10 時から午後 2 時まで

3 会 場

エスファクトリー東北中江公園

4 主 催

令和 7 年度日本一はっとフェスティバル実行委員会

5 内 容

(1) はっと料理 P R コーナー（登米市の郷土料理「はっと」の P R 販売）

19 店舗 20 種類の「はっと」を楽しむことができる。

(2) 地場産品販売コーナー

登米市の様々な地場産品が販売される。

(3) 広域連携コーナー

富山県入善町、岩手県一関市、岩手県平泉町、栗原市の地場産品が販売される。

(4) 観光情報コーナー

登米地域の観光パンフレットの配布やポスター等を掲示する。

6 担当部署

産業経済部観光物産戦略課

電 話：0220-34-2759

F A X：0220-34-2802

登米市環境保全米活用食育推進事業について

市内の各小中学校・幼稚園給食の米飯には、登米市産環境保全米を使用しているが、この度、登米総合産業高等学校農業科作物専攻班の生徒が栽培した令和7年産環境保全米を、県の食育推進月間である11月に合わせ、市内学校給食に提供するとともに、生徒が考案したレシピを基に学校給食センターで調理したおかずも提供する。

また、食育の授業等で活用していただくため、生徒が環境保全米のおいしさや環境保全米に対する思いなどを動画にし、11月上旬に各学校等に配布する。

さらに、11月12日（水）には、東和小学校に登米総合産業高校農業科作物専攻班生徒及び担当教員が出向き、環境保全米への取組や地域農業の特色などを紹介する。

- 1 提供数量**
- ・環境保全米「ササニシキ」新米：495 kg
 - ・園児、児童生徒及び教職員：5,674 食（一人1食分）

2 実施日

| 実施日 | 給食センター名 | 学校数 | 給食数 |
|-----------|--------------|-----|--------|
| 11月12日（水） | 東部東和学校給食センター | 2校 | 320食 |
| 11月13日（木） | 西部学校給食センター | 16校 | 2,700食 |
| 11月14日（金） | 東部津山学校給食センター | 2校 | 174食 |
| | 北部学校給食センター | 9校 | 1,530食 |
| 11月20日（木） | 南部学校給食センター | 5校 | 950食 |
| 合計 | | 34校 | 5,674食 |

※学校数、給食数は幼稚園を含む。

- 3 実施主体**
- 登米総合産業高等学校、みやぎ登米農業協同組合、教育部学校給食センター、市民生活部健康推進課、産業経済部観光物産戦略課

4 担当部署

産業経済部観光物産戦略課
電話：0220-34-2759
FAX：0220-34-2802

登米産仙台牛等の給食提供について

本州最大の肉用牛の産地である本市において、市内の子どもたちに地域の農業や特産物を知ってもらうとともに、牛肉の消費拡大を図ることを目的として、登米産仙台牛等を給食へ提供するもの。

1 実施主体

登米市和牛振興協議会

2 提供内容

市内の公立・私立の保育所、幼稚園、認定こども園及び小中学校へ登米産仙台牛等を提供する。提供に当たっては、給食だよりや献立表で登米産の牛肉が使用されていることを園児、児童生徒及び保護者に周知する。

3 提供時期（令和7年11月から令和8年2月）

（1）11月実施予定分

①提供見込数量：登米産仙台牛等 198 kg

| 日 時 | 給食センター名 | 献 立 | 学校数 | 提供数量 |
|-----------|--------------|--------|-----|---------|
| 11月10日(月) | 西部学校給食センター | 牛丼 | 16校 | 134.5kg |
| 11月14日(金) | 南部学校給食センター | 牛丼 | 5校 | 54.0kg |
| 11月28日(金) | 東部津山学校給食センター | ビーフカレー | 2校 | 9.5kg |

②取材可能学校

- ・11月10日（月） 登米市立南方小学校
- ・11月14日（金） 登米市立登米小学校
- ・11月28日（金） 登米市立津山小学校

（2）令和8年1月実施予定分 北部学校給食センター

（3）令和8年2月実施予定分 東部東和学校給食センター

4 担当部署

産業経済部農政課（登米市和牛振興協議会事務局）

電 話：0220-34-2713

F A X：0220-34-2802

登米市市制施行 20 周年記念事業 登米市消防本部一日消防長について

1 概 要

登米市市制施行 20 周年を記念して、豊里町出身お笑い芸人佐々木 隆史氏（エバース）に一日消防長を委嘱し、令和 7 年秋季火災予防運動行事の一環として火災予防の啓発を図るもの。

2 日 時

令和 7 年 11 月 9 日（日） 午前 10 時 45 分から

3 場 所

イオンタウン佐沼（セントラルコート）、登米市消防防災センター

4 内 容

【イオンタウン佐沼】

- ・ 10:45 一日消防長委嘱状交付式
- ・ 11:00 防火ポスターコンクール表彰式
- ・ 11:30 車両表示ロゴマーク選考
- ・ 11:45 エバース漫才披露
- ・ 12:00 火災予防普及啓発チラシ配布

【登米市消防防災センター】

- ・ 14:00 消防訓練体験（一般参観可）

5 そ の 他

- (1) 大規模災害等を除きイベントは継続して実施する。
- (2) 登米市消防防災センターにお越しの際は、水の里ホール・Abebisou の大駐車場を利 用いただく。

6 担当部署

消防本部消防総務課

電 話：0220-22-3119

F A X：0220-22-4699

登米市市制施行 20 周年記念事業 第 37 回カッパハーフマラソンについて

1 趣 旨

大会を通して本市の魅力を発信するとともに、ランナーのみならず多くの方に参加いただることで地域間交流と地域活性化を促進するため、カッパハーフマラソン大会を開催するもの。

2 主 催 登米市、登米市教育委員会、登米市陸上競技協会

3 共 催 (特非) 登米市体育協会

4 主 管 カッパマラソン実行委員会、(特非) とよまスポーツクラブ蔵っこ、
登米市登米地区体育協会

5 期 日 令和 7 年 12 月 7 日 (日) ※雨天決行
開会式 午前 8 時 30 分 (競技開始 午前 9 時 30 分)

6 会 場 エスビー食品とよま蔵ジアム

7 ゲストランナー 陸上競技・競歩元日本代表 山崎 勇喜 氏

8 種目及び参加資格

- | | |
|------------------------------|---------------------------|
| (1) ハーフ (登録者) 男子 | (15) 10 k m (一般) 60 歳以上女子 |
| (2) ハーフ (登録者) 女子 | (16) 5 k m 高校生～39 歳男子 |
| (3) 10 k m (登録者) 男子 | (17) 5 k m 40 歳～59 歳男子 |
| (4) 10 k m (登録者) 女子 | (18) 5 k m 60 歳以上男子 |
| (5) ハーフ (一般) 高校生～39 歳男子 | (19) 5 k m 高校生～39 歳女子 |
| (6) ハーフ (一般) 40 歳～59 歳男子 | (20) 5 k m 40 歳～59 歳女子 |
| (7) ハーフ (一般) 60 歳以上男子 | (21) 5 k m 60 歳以上女子 |
| (8) ハーフ (一般) 高校生～39 歳女子 | (22) 3 k m 中学生男子 |
| (9) ハーフ (一般) 40 歳以上女子 | (23) 3 k m 中学生女子 |
| (10) 10 k m (一般) 高校生～39 歳男子 | (24) 2 k m 小学生男子 (1～3 年生) |
| (11) 10 k m (一般) 40 歳～59 歳男子 | (25) 2 k m 小学生女子 (1～3 年生) |
| (12) 10 k m (一般) 60 歳以上男子 | (26) 2 k m 小学生男子 (4～6 年生) |
| (13) 10 k m (一般) 高校生～39 歳女子 | (27) 2 k m 小学生女子 (4～6 年生) |
| (14) 10 k m (一般) 40 歳～59 歳女子 | |

9 表彰

午前 11 時から種目毎に順次表彰を行う。

※当日の進行状況により表彰式の開始時刻を変更する場合がある。

10 担当部署

教育部生涯学習課

電 話：0220-34-2698

F A X : 0220-34-2504

登米市市制施行20周年記念事業 第23回登米市絵本原画展について

子どもたちが、絵本や原画とのふれあいの中から、豊かな表現力や創造力を身に付け、健やかに成長することを目的として開催するもの。

1 日 時 令和7年11月12日（水）～11月15日（土）
午前9時30分～午後4時（12日は10時30分開館、15日は午後3時まで）

2 会 場 水の里ホール・Abebisou

3 内 容

- (1) 絵本の原画展示
 - ・「ラッテとふしぎなたね」 庄野ナホコ 作
 - ・「恐竜トリケラトプスとかいぶつきょうりゅう」 黒川みつひろ 作・絵
- (2) 絵本の展示
 - ・宮城県図書館の絵本・児童書約150冊の展示
- (3) おはなし会
 - ・市内読み聞かせ団体によるおはなし会
- (4) おたのしみ抽選会
 - ・作者サイン入り絵本のプレゼント
- (5) 本の展示「本でみる登米市20年の歩み」
 - ・郷土の本や広報とめを展示

4 主 催 登米市教育委員会

5 共 催 公益財団法人登米文化振興財団

6 主 管 登米市絵本原画展実行委員会

7 後 援 (株)小峰書店、図書館ボランティア、登米市子育て支援ボランティア、爽陽(ブックカフェFestival)宮脇書店佐沼店、河北新報社、大崎タイムズ社、メディアボックス、H@! FM

8 協 賛 佐沼ロータリークラブ、佐沼ライオンズクラブ、公益社団法人登米法人会

9 担当部署

教育委員会図書館（白鳥ライブラリー・爽陽）

電 話：0220-22-9820

F A X：0220-21-6575

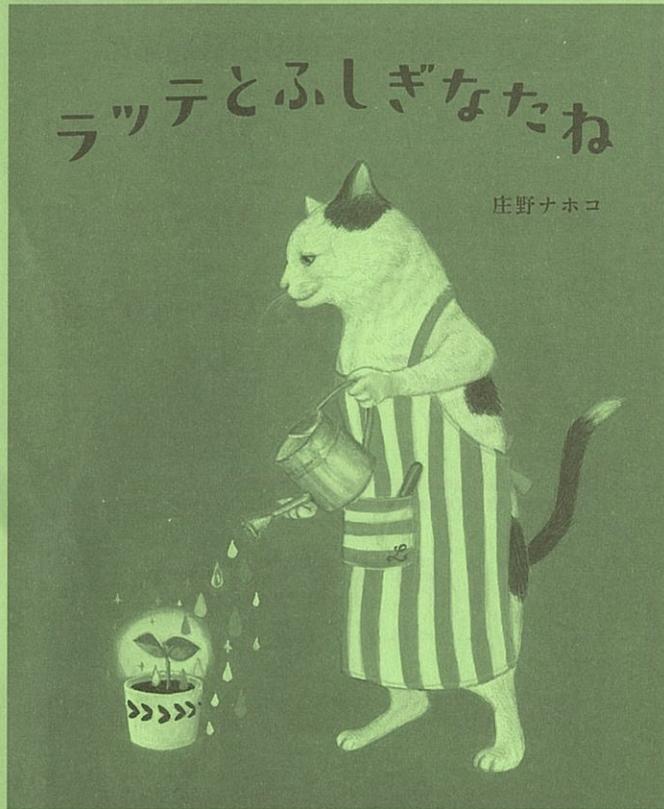


祝市制施行
20周年!

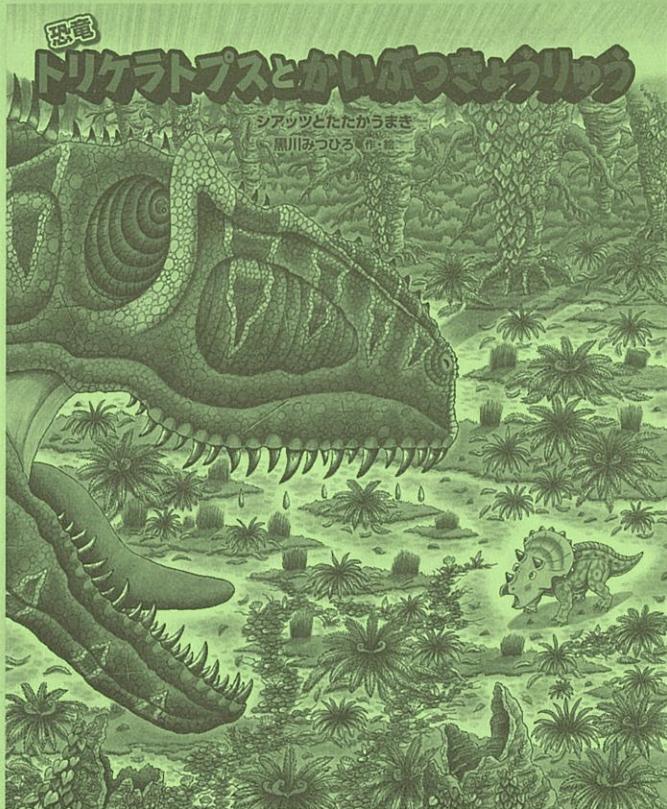
第23回

登米市絵本原画展

庄野ナホコ 作
『ラッテとふしきなたね』



黒川みつひろ 作・絵
『恐竜トリケラトプスとかいぶつきょうりゅう』



- ・絵本展示
- ・おはなし会
- ・おたのしみ抽選会(11月15日)

2025年11月12日(水)~11月15日(土)

時間/午前9時30分~午後4時
(12日は午前10時30分開館・15日は午後3時まで)

会場/ 水の里ホール・Abebisou 小ホール
(登米祝祭劇場)

入場
無料

主催/登米市教育委員会

共催/公益財団法人 登米文化振興財団 主管/登米市絵本原画展実行委員会

後援/株式会社 小峰書店、図書館ボランティア、登米市子育て支援ボランティア

爽陽(ブックカフェFestival)、宮脇書店佐沼店、河北新報社、大崎タイムズ社、メディアボックス、H@!FM

協賛/佐沼ロータリークラブ、佐沼ライオンズクラブ、公益社団法人 登米法人会

事務局/迫図書館 白鳥ライブラリー・爽陽 TEL 0220-22-9820

第23回 登米市絵本原画展

イベントスケジュール



11月12日(水)

- ◆開場式 10:00~
- ◆原画展示 10:30~16:00
- ◆絵本の展示(宮城県図書館選定)
10:30~16:00
- ◆おはなし会 10:30~12:00
14:00~16:00

11月13日(木)

- ◆原画展示 9:30~16:00
- ◆絵本の展示(宮城県図書館選定)
9:30~16:00
- ◆おはなし会 9:30~12:00
14:00~16:00



11月14日(金)

- ◆原画展示 9:30~16:00
- ◆絵本の展示(宮城県図書館選定)
9:30~16:00
- ◆おはなし会 9:30~12:00
14:00~16:00

11月15日(土)

- ◆原画展示 9:30~15:00
- ◆絵本の展示(宮城県図書館選定)
9:30~15:00
- ◆おはなし会 9:30~12:00
- ◆お楽しみ抽選会 14:15~

11月15日(土)に来場された方のみ対象

抽選で20名の方に
作者サイン入絵本プレゼント



*おはなし会(団体要予約) 迫図書館 白鳥ライブラリー・爽陽:0220-22-9820

登米市歴史博物館企画展について

1 企画展示名 「火縄銃の魅力」

2 趣 旨

火縄銃は、戦国時代の天文 12 年（1543）に種子島へ伝來したとされている。その後、國產化が進み、国内各地へ広がりを見せ、全国へ普及した火縄銃は、多くの合戦で使用されるようになり、戦術に大きな変化を与えた。江戸時代になっても仙台藩では、藩や各家中に抱えられた鉄砲鍛冶が従事し、多くの火縄銃が備えられ、その特徴的な形状から「仙台筒」とも呼ばれていた。

今回の企画展では、仙台筒をはじめ、登米・佐沼・石森で製造された火縄銃を紹介する。

3 主 催 登米市歴史博物館

4 開 催 期 間 令和 7 年 11 月 1 日（土）～令和 8 年 2 月 15 日（日）

※令和 7 年 12 月 9 日（火）～12 月 28 日（日）は館内燻蒸に伴う臨時休館

※令和 7 年 12 月 29 日（月）～令和 8 年 1 月 3 日（土）は年末年始のため休館

5 入 館 料 無料

6 会 場 登米市歴史博物館 企画展示室

7 展示資料（一部）

登米伊達家行列図、火縄銃（仙台登米住佐藤助十郎信尹）、火縄銃（仙台登米住高橋祐
太夫定^{*}中鍛^{*}口は、判読できない文字）

8 担 当 部 署

教育委員会登米市歴史博物館

電 話：0220-21-5411

F A X：0220-21-5412

企画展 火縄銃の魅力



入館
無料

令和7年

11月1日(土)→2月15日(日)

令和8年

12月 9日(火)~12月28日(日) 博物館燻蒸に伴い臨時休館
12月29日(月)~ 1月 3日(土) 年末年始休館



登米市歴史博物館

Tel: 0220-21-5411 Email: rekishi-haku@city.tome.miyagi.jp

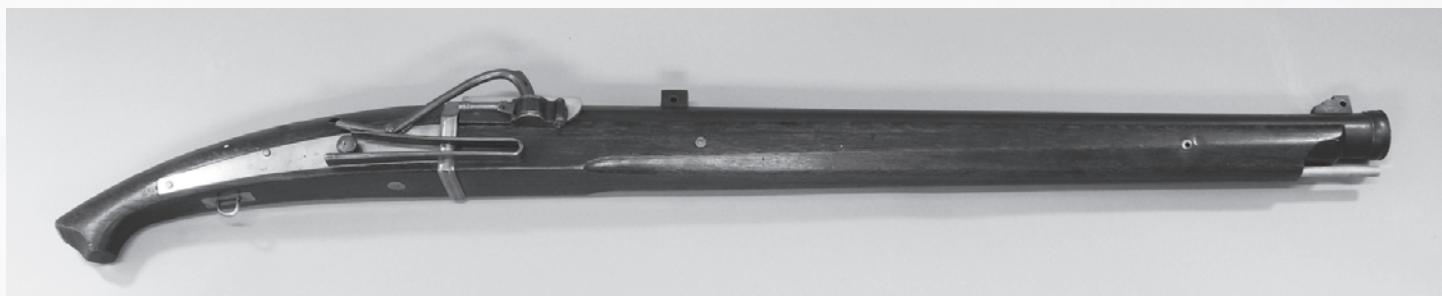


企画展 火縄銃の魅力

火縄銃は戦国時代の天文12年(1543)に種子島に伝來したとされています。その後、次第に国産化が進み、各地へと広がりを見せていきました。全国へ普及した火縄銃は、多くの合戦で使用されるようになり、戦術に大きな変化を与えました。

太平の世であった江戸時代でも、仙台藩では多数の火縄銃を備えていました。宝暦6年(1756)に幕府巡檢使に提出した調査によると、藩内には火縄銃が42,796挺あったと記されています。仙台藩では藩や家中に抱えられた鉄砲鍛冶が従事し、その製品は「仙台筒」と呼ばれる程の特徴的な火縄銃を製造していました。

今回の企画展では、仙台筒をはじめ、登米・佐沼・石森で製造された火縄銃を中心に紹介します。



火縄銃 仙臺登米住佐藤助十郎信尹 個人蔵



火縄銃 仙臺登米住高橋祐太夫定□中鍛 個人蔵



登米伊達家行列図 個人蔵



竹に雀紋火薬入れ 個人蔵

【展示解説】 各日 午前11時から午前11時30分
会 場:歴史博物館企画展示室
参加費:無料

[令和7年] 11/2(日)、11/3(月)、11/23(日)

[令和8年] 1/11(日)、1/12(月)、2/15(日)



11月イベント一覧

| イベント名 | 開催期日 | 開催場所 | 問合せ先 |
|---------------------------------------|---|------------------------------------|--|
| 登米市歴史博物館企画展 | 令和7年11月1日(土) ～ 令和8年2月15日(日) | 水の里ホール・ Abebisou | 教育委員会 登米市歴史博物館 0220-21-5411 |
| 登米市市制施行20周年記念事業 登米市ぐるっとウォーキング | 11月 8 日 (土) | とよま明治村コース ほか3コース | 市民生活部 健康推進課 0220-58-2116 |
| 登米市市制施行20周年記念事業 登米市消防本部一日消防長 | 11月 9 日 (日) 10:45～ | イオンタウン佐沼、 登米市消防防災セン ター | 消防本部 消防総務課 0220-22-3119 |
| 登米市市制施行20周年記念事業 第23回登米市絵本原画展 | 11月12日 (水) ～ 11月15日 (土) 9:30～16:00 | 水の里ホール・ Abebisou | 教育委員会迫図書館 (白鳥ライブラ リー・爽陽) 0220-22-9820 |
| 野菜たっぷり適塩ナトカリレシピコ ンテスト表彰式 | 11月15日 (土) 10:00～ | 登米市役所 南方庁舎 | 市民生活部健康推進課 0220-58-2116 産業経済部観光物産戦略課 0220-34-2759 |
| 令和7年度登米市消防団演習 | 11月16日 (日) 8:30～12:00 | 長沼アートピアヨテツの丘 公園、アイス総合ボート ランド | 消防部 警防課 0220-22-1901 |
| 登米市市制施行20周年記念事業 令和7年度日本一はっとフェスティバル | 11月30日 (日) 10:00～14:00 | エスファクトリー東 北中江公園 | 産業経済部 観光物産戦略課 0220-34-2759 |
| 登米市市制施行20周年記念事業 第37回カッパハーフマラソン | 12月 7 日 (日) 8:30～ | エスビー食品とよま 蔵ジアム | 教育部 生涯学習課 0220-34-2698 |